

3. 野蒜まちづくり協議会（宮城県東松島市） ～ふるさと野蒜の未来をつくる！ 安心あったかプロジェクト～

① 取組背景・地域課題

- 野蒜地区は、震災により大きな被害を受け、人口は震災前の約4,800人から約2,500人まで減少（平成30年3月時点）。高台への防災集団移転も進み、平成29年9月より移転地区にも新たに自治会が設立された。
- 野蒜まちづくり協議会(以下「まち協」という。)は、地区の全世帯参加の組織であり、地区内の8自治会と連携し、まちづくりに取り組んでいる。
- 多くの地域課題を抱える中で、より多くの地域住民にまちづくりに参加してもらう必要性を感じていることから、まちづくりに参加するためのきっかけづくり、場の整備を行い、まちづくりに関わる住民の増加を図る。

② 支援体制

コーディネーター
(支援事業者)

(株)日本総合研究所

外部専門家
連携団体等

- Webによる情報発信の専門家、ファシリテーションの専門家等を検討中

③ 本事業の目的と取組内容

まち協を知ってもらうことをきっかけに、活動への参加・参画、新たな取組の協働のプロセスを通じて、まち協とともに地域のために活動する仲間を増やす

取組① つながる広がるまちづくり ～まち協Webサイト作成等～

- ⌘ 幅広い世代に、まち協の活動を知ってもらうことを目的に、適切な情報発信の仕組みを検討。
- ⌘ Webサイトの作成を中心としつつ、ターゲットとなる住民に適切に情報を届ける仕組みを構築。

まち協の活動を知る人を増やす

- Webサイトでの情報発信開始
- 各地域内ターゲットへの情報発信
 - 小/中/高校生(1回以上)
 - 子育て世代(1回以上)

取組② 子どもも大人も楽しいまちづくり ～まち協文化祭開催と野蒜イメージソング作成等～

- ⌘ 若手有志からなる「ひこばえ座談会」を中心に、子ども達のための文化祭の企画・運営を実施。
- ⌘ 地域への親しみと一体感の醸成の一助として、住民を巻き込みながらイメージソングを作成し、地区内での浸透を図る。

まち協の取組に参加・参画する人を増やす

- まち協の取組への参加者(100名以上)
- まち協の取組への参画者(企画運営への参加者)(20名以上、うち小中学生10名以上)

取組③ みんなでまちづくり ～まち協プラットフォーム構築～

- ⌘ まち協の目指す姿を明確にし、仲間を増やすために、参加者が、自ら地域のためにやりたいことを見つけ、小さいながらも形にするための場を設置。

まち協とともに活動する人を増やす

- まち協ビジョンの明確化
- 新たなメンバーの参加(10名以上)
- プロジェクトの開始(2件以上)